

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : サウスカロライナ大学

留学期間 : 平成 27 年 8 月 10 日 ~ 平成 28 年 5 月 31 日

約 10 か月アメリカのサウスカロライナ州に留学していました。関西外国語大学からの交換留学生という形でサウスカロライナ大学に派遣されました。現地の大学生と共にビジネス系の授業を履修していました。以前に短期留学は経験したことがありましたが、長期間、海外に滞在するのは初めてだったので非常に多くの事を経験することが出来ました。一人で関西外大から派遣されたので、必要なことを全て自分で把握しておく必要があり、初めのうちは、ひたすらわからないことを現地大学のスタッフに聞き続けていました。銀行口座を作ったり、携帯電話会社と契約したりなど日本で簡単にできるようなことも海外では、言語の壁があるせいか、難しく感じたこともありました。授業はもちろん現地のアメリカ人に向けて開講されているので、外国人の私にとっては聞き取りにくかったり、完全に理解することが難しいことも多くありました。ルームメイトの話す英語を理解するのに苦労したこともありましたが、何度も繰り返しているうちに、慣れていき、いつの間にか理解できるようになっていました。そして、ふとした瞬間に、自分の成長を感じることが出来ました。辛い時期もありましたが、その成長を感じ、もっと頑張ってみようと思え、モチベーションを保つことが出来ました。授業が始まる前は、ついていけるかどうか心配していました。ですが、予習復習をしっかりと行い、積極的に授業に挑むことで良い評価をもらうことができました。良い発言ができたり、良い評価をもらうと授業が楽しくなり、さらに積極的に参加することが出来ました。国際ビジネスやファイナンス、マネジメントなど、幅広くビジネス系の授業を履修していました。どの授業も楽しむことができ、専門知識を身に付けることができました。勉強以外の面では、現地のアメリカ人だけでなく、世界中からサウスカロライナ大学に留学しに来ている人と友達になり、多くの楽しい時間を過ごしました。親友と呼べるほどの仲になった友達もいました。サウスカロライナにずっと滞在するのではなく、休暇中には他の州へ旅行にも行き、プライベートも非常に充実していました。

留学を経て、英語力が上がり、知識が身に着いただけでなく、精神的にも成長することが出来ました。様々なバックグラウンドの人と出会い、多くの異なる文化に触れ、柔軟な考え方が身に着き、寛容になりました。あまり細かいことには気を使わず、本質的に重要なことにもっと目を向けることができるようになりました。日本にいた時は気づけなかったようなことにも気づけるようになりました。それに加えて、自分の意見を今まで以上にしっかりと持つことが出来るようになりました。黙っていても誰も話を聞いてくれないので、自分を主張するということの大切さを認識しました。間違っていようが、他人にどう思われようが自分の思ったことを口に出して言うようになりました。それもあってか、自分に対する自信もつきました。留学中は基本的に一人で生活する上で必要なことを行ってきました。大変なことも多かったです。全て乗り越えてきたので、今後同じように困難に直面しても、必ずやりきれると信じる事が出来ます。この自信は、将来どのような道に進んでも、自分の力になってくれると思います。

これから留学をされる方への私からのアドバイスは3つあります。一つ目は留学前にしっかりと準備をすることです。もちろん留学に行ってしまうと、そこで多くのことを学ぶことが出来ると思います。しかし、より準備が整っている状態で留学をスタートすれば、吸収できることの量が数倍多いと思います。もし私の英語力が留学が始まったときに、もう少し高かったら、今よりもぐんとレベルアップした状態で帰国できていたと思います。人によって留学の目的は違うと思いますが、自分の目的に合った準備をしっかりと行えば、最高の結果が出ると思います。二つ目は、物事に臆さず積極的に取り組むことです。留学中には緊張したり、失敗を恐れたりするような場面が多々あると思います。しかし、そこで負けずに、ガンガン攻めることがとても重要だと思います。意外と何とかなることが多いと思います。それにもし失敗したとしても、周りの人はすぐに忘れます。またその失敗を重ねることで成長すると思いますし、何度も挑戦することで自然と自信も付いてくると思います。私自身も、授業で何度も積極的に発言し続けることによって、良いコメントをすることが出来るようになりました。三つ目は思う存分楽しむことです。勉強だけを100%の力で行うことはまず無理だと思います。遊ぶ時はしっかり遊ぶべきだと思います。住み慣れた日本を離れて、仲の良い友達にもしばらく会えない留学という厳しい道を選んだのであれば、多少は遊んでも誰も怒らないと思います。その遊びから学べることもあるはずで、勉強からも遊びからも吸収できることは全て吸収して、大きく成長して日本に留学から帰国できるように応援しています。